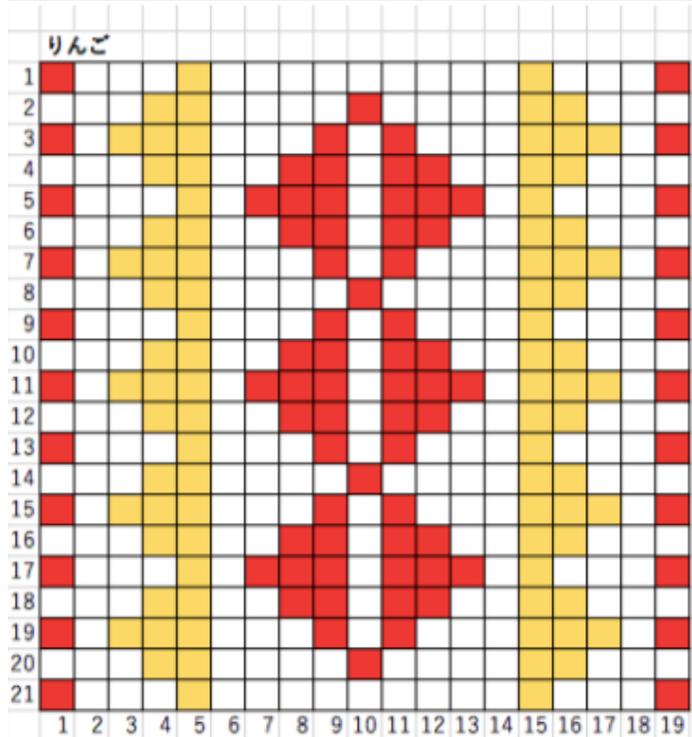
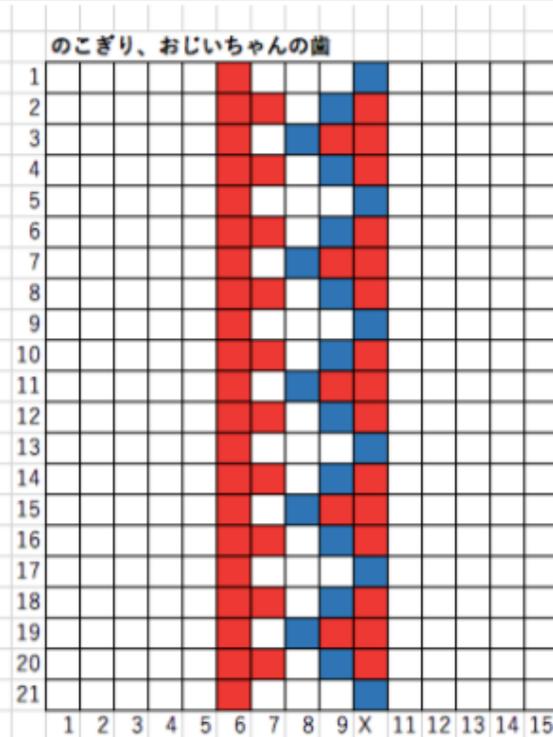


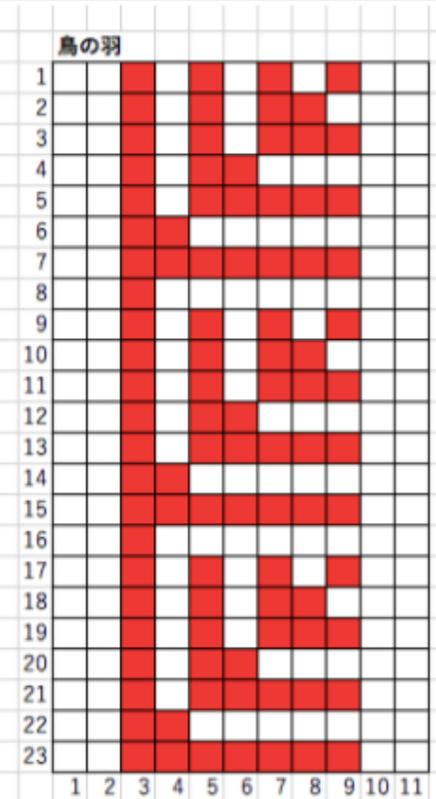
パレスチナ刺繍 図案集



りんご

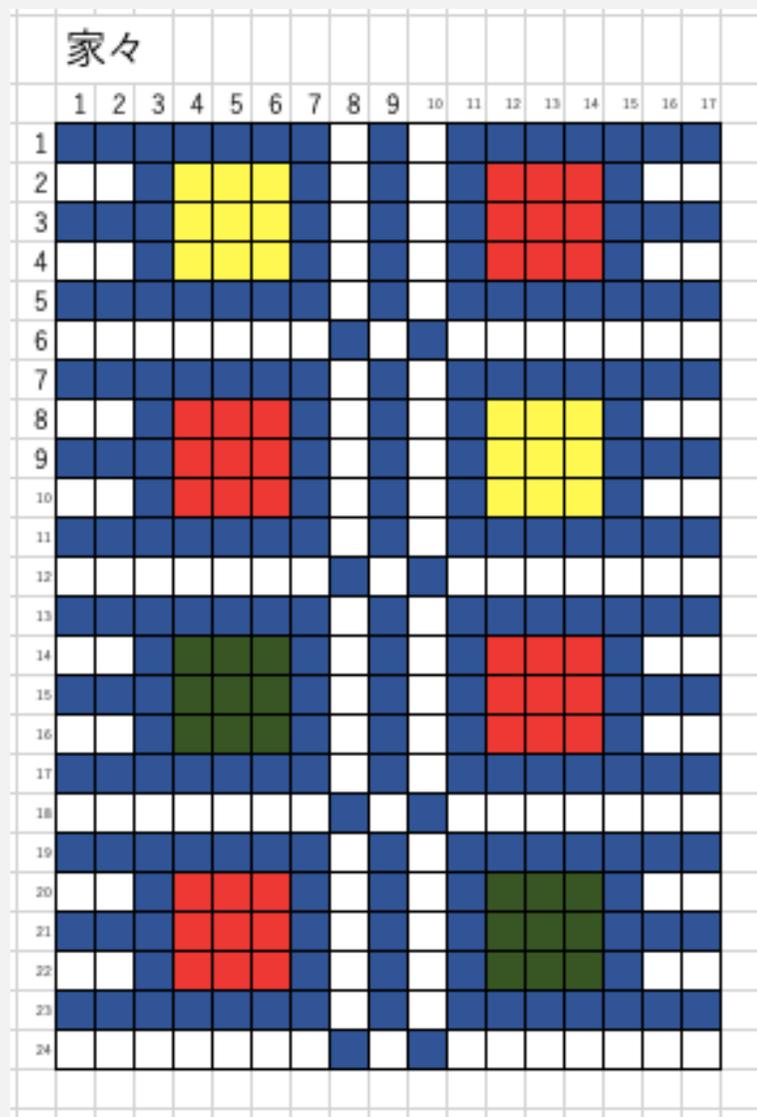


左：おじいちゃんの歯
右：のこぎり

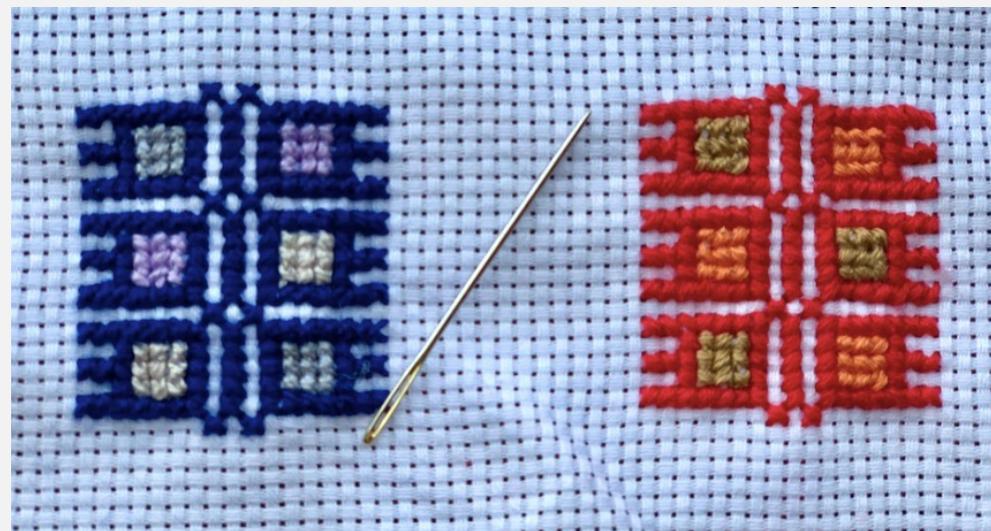


鳥の羽

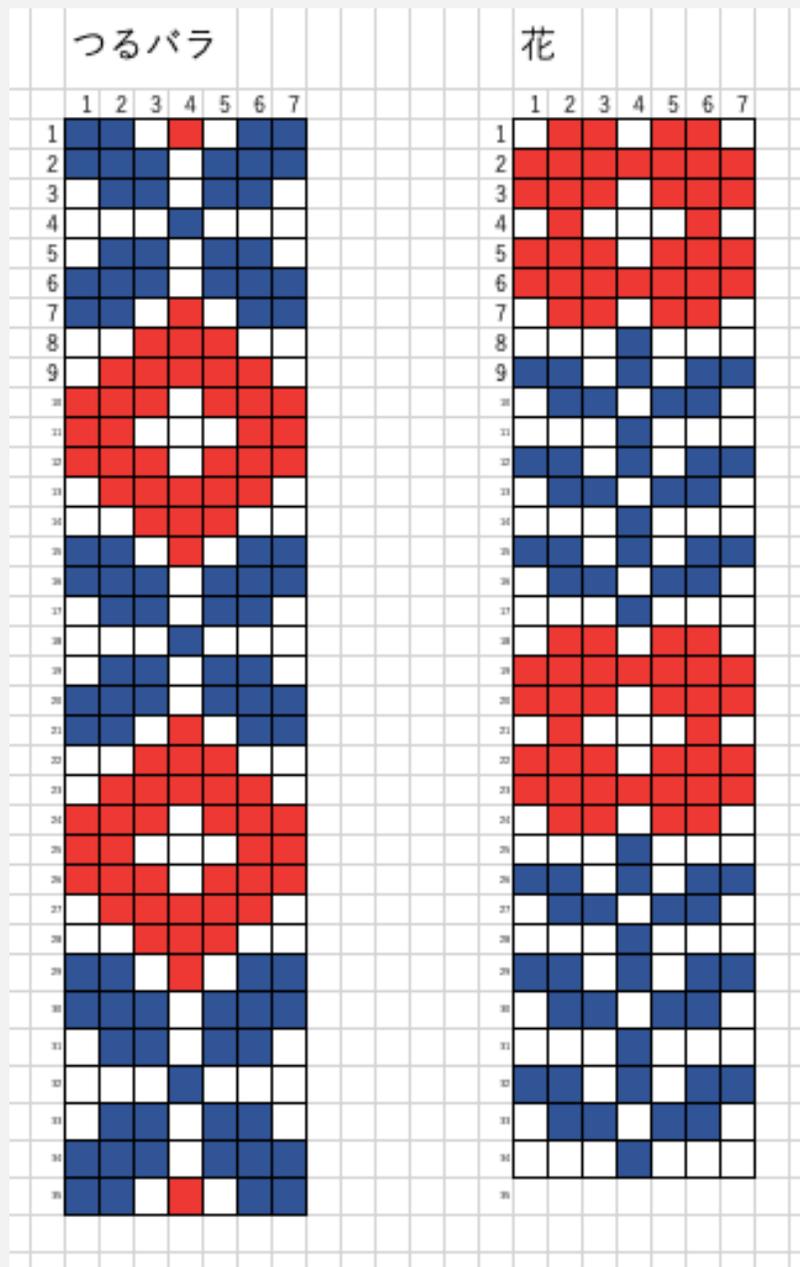
パレスチナ刺繍 図案集



色合いが変わると
雰囲気も変わります
ぜひ好きな色で！



パレスチナ刺繍 図案集



(JVCで販売していたポーチです)



左は「月」、右は「スイカ」「レーズンとひよこ豆」

最後に…

JVCが協働してきた、難民キャンプの女性のコメントをご紹介します。

ぜひ、パレスチナに来て、パレスチナやイスラエルについて、現実を知ってください。

ここベツレヘムには外国人観光客が毎日やって来て、「ここはイスラエル」と思っているようですが、本当は違います。ここはイスラエルじゃない、私たちのパレスチナです。そして、占領下で生きているパレスチナ人たちには、何かおかしいことが毎日起こっているのを、知ってほしいと思います。

外国から来た誰かが、パレスチナ問題に触れるとき、宗教のことを話しているのを聞くと私は悲しくなります。それは本当の問題ではないからです。**本当の問題は「占領」。**だから、**もっと難民や占領の話をしてほしいのです。**ニュースを聞いてほしいし、もっと状況のことを分かってほしいと私は思っています。

もしあなたがパレスチナに来たら、ここでしか知ることができない問題にたくさん触れるでしょう。そして、議論できることがたくさんあります。電気、水、受刑者、検問所、土地収奪……パレスチナ人たちが直面している問題は本当にたくさんあって、いちど開けたらもう閉めることはできないくらい、大きな議論になるでしょう。

私は一人のパレスチナ人として、今の状況にはもう耐えられないと思っています。私は幸せに生きたいし、安全に暮らしていきたい。他の人よりいい暮らしをしたいなんて、思っていません。ただ子どもたちと、家族と一緒に、自由に普通の暮らしがしたいだけなのです。

マナールさんのコメント（41歳・ベイトジブリン難民キャンプ、2017時点）